



広報

# なほま 市民の友

第643号 毎月1回発行  
2004年(平成16年)

8月

発行●那覇市 編集●秘書広報課  
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号  
☎867-0111 ●印刷 光文堂印刷(株)

市の人口と世帯	
※( )内はうち外国人	
2004(平成16)年6月末現在	
総人口	311,910(1,936)
男	150,888(1,013)
女	161,022( 923)
世帯数	124,357(1,156)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	89,927
真和志	105,601
首 里	58,944
小 緑	55,502



## 触れ手・重ね手・あの人の手

### 沖映通りに著名人の手形レリーフ

「でーじ、デカイ」「だー!!」。  
夏休みの初日、お友達5人は汗だくになりながら、ゴルフバチョフさんの手をかたどった銅版に、手を伸ばしていました。

「なほの日」の関連イベントのひとつとして、7月8日(木)に「触れ手・重ね手・あの人の手」の除幕式が行われ、那覇市にゆかりのある著名人の銅製の手形レリーフ(浮き彫り)が、沖映通り商店街振興組合の協力により、通り沿いの街路灯に設置されました。

現在は、元ソ連大統領「ルバチョフさんのほか、「ちゆらさん」でおなじみの女優、国仲涼子さん、歌手のMAX(マックス)の4名計6枚が設置されています。

今後、沖映通り商店街振興組合では、市の事業をひき継いで、多くの著名人の手形レリーフを設置していく予定です。

ところで、お友達5人組の将来の夢は、消防士や警察官、総理大臣のほか、わからん!と、ちょっと困った様子。

著名人の手形に手を重ねることで、那覇市民としての誇りと自信になって、いろんな夢を描いてほしいものですね。

#### 主な紙面

- 那覇市のペット事情 帰ってきた 2
- 「琉球王朝の秘宝展」 コミュニティ・バス実証実験 4・5・3
- 7月8日を「なほの日」にしよう 7 6

情報PACK

## 市長談 TAIDAN 16



のぶこ  
平良 信子  
元那覇市長故平良良松氏夫人

大正7年(1918年) 泊生まれ  
昭和10年(1935年) 第一高等女学校卒  
昭和15年(1940年) ペルーのリマにて平良良松氏と結婚。現在、友人との模合やデイケアに通うなど、生活を楽しんでいる。

市長 ところで、平良良松先生が推進したモノレール事業ですが、ご存命でしたら第一号で乗っていただきかったですね。

市長 友人どうして金を出し合っって、「文藝春秋」とか「中央公論」などを買って回し読みをしたそうですね。

市長 貴方のご両親には本当にお世話になったのですよ。戦争が終わって沖繩に引き上げてきたら住む家もなく住んでいるところを私たちに分けていただいた。本当に助かりました。そういう息子さんか那覇市長になられて。主人が生きていたら、雄志さんの頭を撫でたことでしょうか。

市長 良松先生らしいエピソードですね。ところで、壁に掲げられている「二度だけの人生」という書は先生がお書きになったのですか。

市長 そうです。「一度だけの人生」というのが好きな言葉でした。

市長 いいお言葉ですね。今日ありがとうございます。今日からモノレールをみんな育てたいですね。

## モノレール事始め



が走っているのを見上げるのですが、そのたびに立ち止まって主人のことを思い出します。

市長 モノレール導入を決めた最初の頃ですから、なにかと苦労もあつたのじゃないですか。

市長 あの頃は日帰りの出張も多かったですね。一度は山中貞則先生のところへ行っただけに、羽田から浜松町までモノレールがすいていたらしく、先生に「モノレールを借り切ってくださいましたよ」と申し上げたらしいのです。

市長 そうしたら、山中先生はご自分の秘書の方に「モノレールは貸し切りができるのか」と(笑)。

市長 良松先生らしいエピソードですね。ところで、壁に掲げられている「二度だけの人生」という書は先生がお書きになったのですか。

市長 そうです。「一度だけの人生」というのが好きな言葉でした。

市長 いいお言葉ですね。今日ありがとうございます。今日からモノレールをみんな育てたいですね。